

揺るぎない攻めの姿勢で 広範囲から集客

ドライブタイム30分は この辺では当たり前

2011年に埼玉へ県外初進出を果たした宮城県のカツヨシ商事（本社・仙台市）は、出店意欲の旺盛なホール企業だ。同年以降も毎年、コンスタントに新規出店を続け、2012年には埼玉2店舗目、2013年には山形にも店舗をオープンさせている。

2011年の東日本大震災では、宮城県内の系列店が軒並み被害にあったが、それで萎縮するのではなく、社員のモチベーションアップとリスクヘッジの観点から、逆に多店舗展開に打って出るという攻め施策を選択。今回取り上げる「メルヘンワールド蒲谷店」も、その拡大路線

の途上にある店舗の一つだ。

同店がある蒲谷町は、仙台から北北東へ約40km。田園地帯の中に集落が点在する人口約1万7000人の典型的な郡部だ。

石巻市と大崎市を東西につなぐ国道108号線沿いに同店は位置し、近くには、登米市と松島町を南北に結ぶ国道346号線が走っている。距離的にもその3市の中間点にあり、周縁エリアからの集客を見込んでの出店となった。

同店を指揮する佐藤マネージャーは「車社会なので、ドライブタイム30分ぐらいなら普通に移動してくれる地域。近隣店舗の客数もそれほど落ちていないので、思惑通り、他の市町村からお客さまを呼べているようです。娯楽が少ないところでは、



- 所在地／宮城県遠田郡蒲谷町 字桑木荒161-1
- グランドオープン日／2013年12月21日
- 経営／(株)カツヨシ商事
- 代表者／琴克男氏
- 店舗数／11店舗
- 総台数／560台（うちスロット160台）

スッキリとした景品カウンター



装飾や設備よりも 大切なのは居心地

では、店内を見てみよう。

タイル張りの床や壁、天井、妻板などは白で統一。景品カウンターの格子模様の木製バックパネルを使用。休憩所は、パチンコ島とパチスロ島の間の通路に設置。両サイドをウッド調の壁にし、一人掛けソファ

で、新しいモノ（新店）に対する反応がいいのでしょう」と話す。

を並べ、植物を配している。

装飾もひかえめで、各台計数機をパチンコ全台上に導入し、玉積みも面白いことから、全体にシンプルでスッキリしたデザインになっている。

「当店のキャッチコピーは、『遊びごっこ・夢ごっこ』。地域に合った店作りということで、装飾や設備よりも居心地を重視しています」と佐藤マネージャー。

このあたりの考え方は、接客にも表れており、「そつとしておいてあげる」のが基本。例えば、食事など





稼働良好な1円パチンコ島。4円パチンコでは遊びやすいライトミドルタイプや競合店にない機種を積極的に活用していく意向



パチンコとパチスロの島間に設けられた休憩所

の休憩もユーザーの自己申告制で、遊技台に休憩札を置けばOK。スタツフが気付いた時点からスタートとなる。

スタツフの島内へのラウンドも、顧客が遊技に集中できるように、控えめにしているとか。サービスの押し売りはせず、困っているときにすば



商圏内で同店のみのという5円スロット島

やく補助することを心掛けている。

最後に佐藤マネージャーは、「目標というのは違うかもしれないけれど」と前置きした上で、「近隣の店舗さまと共存していきたい。当店を含めた3店舗合同で地域活性化に役立つ企画ができれば、うれしいですね」と締めくくった。